19th NIPPON SCOUT JAMBOREE INFORMATION

第１号
第19回日本スカウトジャンボリー
ジャンボリーインフォメーション
2025年8月20日発行

ジャンボリーインフォメーションとは

各県連盟の派遣団や参加予定者を対象に、大会参加に向けた準備に必要な情報を提供することを目的として発行します。大会までに数回の発行を予定し、毎号、最新の情報を提供していきます！大会のウェブサイトなどで公開しますので、大会への準備に活用してください。

■大会概要
開催にあたって・・・1
大会の目的・・・・・2
大会テーマ・・・・・2
ワッペンデザイン・・2
大会日程・・・・・・2
参加者・・・・・・・2
■生活・サブキャンプ・・3
生活設備
食事
■大会の各地域・・・・・3
■輸送・・・・・・・・・・4
■参加申込・・・・・5
申込期日
隊の編成
大会運営スタッフ
参加費
■神石高原町・・・・6

大会概要

名称：第19回日本スカウトジャンボリー
（19th NIPPON SCOUT JAMBOREE：19NSJ）
会期：2026年8月4日(火)～10日(月)
6泊7日
参加者：8,000人
会場：広島県・神石高原
仙養ヶ原に広がるキャンプ場を含むテーマパーク「神石高原ティアガルテン」と隣接するゴルフ場「カントリーパーク仙養」とその周辺を会場とします。

一般社団法人神石高原町観光協会提供

開催にあたって

日本スカウトジャンボリーは、全国のスカウトと指導者、そして海外からの参加者を交え、班制教育と各種の進歩制度と野外活動など、スカウト教育の基本を重視した質の高いスカウト活動をとおし、「ちかい」と「おきて」の実践を促進させる機会として、また、ジャンボリーならではのプログラムに参加することにより、新たな発見や感動を体感するとともに、スカウト同士の友情の絆を結び、海外からの参加者との交流を通じて、国際感覚を高揚させ、世界平和を考える機会を提供するなど、青少年の自己成長を促すための我が国スカウト運動最大の教育イベントとして4年を周期に開催しています。

同時に、日本連盟としては、大会全体をとおしスカウト運動が取り組むべき課題や将来への展望を検証する機会として捉え、青少年の現在と将来に関わりの深い課題を取り入れたプログラムを地域社会や関係組織・諸団体と一体となって展開し、本運動の果たす役割や具体的な活動内容を国内外の社会に広くアピールし、スカウト運動の一層の躍進を図る契機とも捉えています。

ジャンボリーとは
ボーイスカウトのキャンプ大会で、一つの国または地域的・国際的・世界的規模で開かれるものをいいます。
人種・宗教・言語・習慣の違いを超えて、広くスカウトの交流と親善を深めるために開催されています。日本スカウトジャンボリーは1956 年から、４年に１度開催されています。

大会の目的

19NSJは、ボーイスカウト日本連盟が2023年から10年間で取り組む第3期中長期計画の各施策を具現化し、2032ビジョンを達成していく機会としています。

風光明媚な瀬戸内海に面しながら、緑豊かな山間地域が広がる備後地域の自然環境をのなかで、地域に密着したプログラム、また、スカウト運動が「平和」に貢献していることを実感し、「世界平和」に向けた新たな取り組みを考えるプログラムを展開します。

日本全国から一堂に会して開催した17NSJから8年ぶりの開催となることから、過去の経験に基づきながらも新たな人材を登用し運営することにより、今後のスカウティングを支える成人を増やし、今後も継続して大会が開催できるようにします。

従前の大会よりも参加割合を減らして開催することから、キャンプ生活の工夫により自然環境への負荷を減らす環境に配慮した大会を実践し、参加者と大会運営スタッフが協働しながら快適なキャンプ生活をおくることを目指します。

大会テーマ

挑戦 ～神石から未来への一歩～

CHALLENGE - A STEP INTO THE FUTURE FROM JINSEKIKOGEN

スカウト一人ひとりがジャンボリーを通じて、未来に向かって力強く歩みを進めるような新たな挑戦をしてほしいという願いが込められています。豊かな自然に囲まれた神石高原で、全国から集まる仲間たちと共に、さまざまな活動や交流を行い、それぞれの未来を切り拓けるよう、新たな一歩を踏み出しましょう！

大会ワッペンデザイン

大会テーマ「 挑戦 CHALLENGE」の旗を掲げ、未来へ踏み出すスカウトの姿を表現しています。中央の「19」は未来への“ ー ”歩と開催地・神石高原のマップピン“9”を示しています。雲海に包まれた天空のキャンプ場でのスカウトの躍動感をワッペン全体で表しています。

大会日程

日程	主な行事
8月 1日(土)	先発スタッフ入場・設営
8月 2日(日)	大会運営スタッフ入場・設営
8月 3日(月)	準備作業
8月 4日(火)	参加者入場・設営・開会式
8月 5日(水)	プログラム
8月 6日(木)	プログラム
8月 7日(金)	信仰奨励 ジャンボリー大集会
8月 8日(土)	プログラム
8月 9日(日)	プログラム・閉会式
8月10日(月)	撤営・参加者退場
8月11日(火)	撤営・大会運営スタッフ退場
8月12日(水)	撤営・後発スタッフ退場

参加者

本大会は、ボーイスカウトおよびベンチャースカウトを参加の主体とし、参加にあたっては、活動を支援する成人指導者とともに派遣隊・班を編成します。

本大会は、青年・成人の大会運営スタッフにより運営されます。大会運営スタッフの人数は、派遣隊数に応じて各県連盟へ割り当てます。

派遣隊には、外国連盟、ガールスカウトをはじめとする関係諸団体ならびに一般からの青少年の参加を歓迎します。また、大会運営スタッフにも、加盟員はもとより外国連盟、ガールスカウト、関係諸団体、一般成人などからの奉仕を歓迎します。

心身や発達の障がいなど特別な配慮を必要とする参加者や大会運営スタッフが、参加・奉仕しやくなるよう運営に際しては合理的配慮を推進します。

生活・サブキャンプ

派遣隊の生活地域として4つのサブキャンプと成人生活地域を設置します。各サブキャンプは、面積に応じた区画数に区分し、派遣隊を分散配置します。

派遣団本部スタッフと大会本部各部の大会運営スタッフは、成人生活地域で生活し、サブキャンプ本部のスタッフは、当該サブキャンプで生活することとします。

派遣隊のキャンプ地は、40人に対して1区画600㎡を基本に計画し、少人数の派遣隊については、複数の隊で1つの隊サイトを利用します。複数隊での隊サイトの利用に際しては、県連盟派遣団本部またはサブキャンプ本部により隊の組み合わせを調整していきます。

生活設備

サブキャンプエリアには、参加者の生活に必要な給水所、汚水桝、トイレ、シャワーを設置します。

なお、仙養ヶ原のある近田地区の水道水を分けてもらい大会で使用しますが、従前の大会に比べ1人あたりで使用できる水量が少ないことから、給水やシャワーの時間を制限することがあります。少ない水での調理や片付け、洗面、短時間でのシャワーができるよう事前から訓練しておくことが求められます。

各サブキャンプには、派遣隊が共有して利用するサブキャンプ広場と営火場を設置します。

食事について

食料の配給

派遣隊の食事は野外炊事とし、大会本部からサブキャンプ本部を通じて食料の配給を受けます。食料の配給は、8月4日(火)夕食分から8月10日(月)朝食分までの17食分を配給します。

炊事用燃料の配給

炊事用の主たる燃料は薪とし、食料の配給に準じて次のとおり配給する計画です。

①材質・仕様

間伐材、除伐材を中心とした針葉樹。

長さ約30cm、太さ一辺約6㎝。

②配給数量

40人あたり20束相当（1束あたり約7kg）を基本として、サブキャンプにて各派遣隊の人数に応じた相当数量を配給します。

スタッフの食事

大会運営スタッフおよび派遣団本部スタッフは、朝食と夕食は本部食堂にて給食を受け、昼食の携行食の配給を受けます。

給食および昼食の配給は、8月2日(日)夕食分から8月11日(火)朝食分までの26食分とします。

大会の各地域

アリーナ地域

開会式・閉会式などの全体行事を実施するアリーナ地域を設けます。

プログラム地域とスカウトセンター

プログラムのテーマや区分に応じて、プログラムエリアを設けます。

また、外国派遣団、日本各地（県連盟またはブロック）のスカウト活動の紹介や、団体・企業などの活動を紹介するエリアとしてスカウトセンターも設けます。

売店地域

会場内に大会記念品などを扱うスカウト用品売店、参加者に必要な日用品や地元物産などを扱う一般売店のエリアを設けます。

大会本部地域

大会本部の業務・運営に必要な事務所機能、会議所、倉庫を備えた大会本部地域を設けます。大会本部の事務所機能や会議所は、各派遣団の利用も想定しています。

輸送

派遣隊の入場

全国の派遣隊の集散の所要日数を同じにするため、集合時には会場に近い派遣団から入場し、解散時には遠い派遣団から退出することを基準とします。

会場近隣への影響と安全な誘導を考慮して、深夜・早朝の入退場は行いません。

8月4日（火）の朝から夕食までに会場に到着し、同日の開会式までに設営を完成させます。また、退場時は10日（月）の朝から夕刻までに会場を出発します。

会場内で一度に停車・乗降できるバスの台数に限りがあるため、輸送調査を踏まえて、到着・出発の時間帯を派遣団ごとに定めます。

大会運営スタッフの集散

大会運営スタッフの入場は、8月2日（日）の正午までに会場に到着し、夕食までに設営を完了します。

退場は、派遣隊の退場完了後とし、8月11日（火）の朝から夕刻までを予定しています。入場・退場の手続き、最寄り公共交通機関からのシャトルバスの運行、駐車場の利用等は改めてお知らせします。

キャンプ装備・備品等の輸送

個人の携行品は、参加者が各自で携行することを原則とします。

派遣隊、派遣団本部、大会運営スタッフの装備・備品等の荷造発送方法は、改めてお知らせします。

会場内の交通制限

会期中、会場内を通行できる車両は、大会本部、警察、消防、報道、郵便、関係業者などの大会業務に必要な車両に限定し、その基準は別途定めます。

会場内での個人車両の使用はできません。

広島県福山市の中心地・ＪＲ福山駅から約38 ㎞、山陽自動車の福山東インターから約36 ㎞、いずれからも国道182 号を経由して車で１時間弱。中国自動車道の東城インターから車で約27 ㎞・30 分。

参加申込

19NSJでは、参加予定申込と参加確定申込の2回に分けて、参加申込手続きを実施します。

参加予定申込後の参加者の変更や参加確定申込からの新規申込も可能ですが、次の2点を調整するため、予定申込を行いますことをご理解ください。大会運営スタッフの部署については、予定申込のあった方の希望を優先します。

①派遣隊：予め大会全体での参加人員の調整と内訳人数を把握するため

②大会運営スタッフ：配属部署を調整するため

なお、参加確定申込をもって正式の参加申込としますので、今後の情報にご留意ください。

各申込の日程は次のとおりです。

●参加予定申込期日

団から県連盟への申込

2025年10月末日

県連盟から日本連盟への申込

2025年11月末日

●参加確定申込期日

団から県連盟への申込

2026年4月10日

県連盟から日本連盟への申込

2026年4月20日

隊の編成

1こ隊あたり最大40人とします。ボーイスカウト・ベンチャースカウト・指導者の男女別人数を記入してください。隊長については、加盟員No.・氏名・所属団・団役務・性別・生年月日・連絡先・職業・研修歴をご記入ください。隊長を除く引率指導者は、やむを得ず全日程参加できない場合には2人1組による交替参加を可能とし、この場合には40人を超えての隊の編成ができます。参加予定申込書には延べ人数をご記入ください。

大会運営スタッフ

大会運営スタッフの人数については、各県連盟派遣団の派遣隊1こ隊につき10人以上の推薦をお願いします（既にご推薦いただいているサブキャンプチーフ・マネージャー等はサブキャンプ部となります）。

大会本部の部署と業務内容については、次をご参照ください。

参加費

参加費は1人あたり60,000円で、予定申込時に10,000円を予納金として納入し、確定申込時に残りの50,000円を納入します。予納金は各申込書式とともに、各県連盟で取りまとめの上、日本連盟に納入します。

大震災などの自然災害や未知の感染症が発生した場合などにより、主催側がやむを得ず大会を中止する場合には、参加費から大会準備に要した諸経費を差し引いた額を返金いたします。個人の都合による参加辞退は、参加費納入後の払い戻しはしません。ただし、他の参加者に振り替えることはできます。

総務部	大会本部の会議、参加者および見学者の受付、外国派遣団、来賓、救護所等に関すること
サブキャンプ部	サブキャンプの運営、派遣隊の生活やプログラム、遺失物・拾得物に関すること
スタッフサービス部	大会運営スタッフの配属、スタッフの生活に関すること
プログラム部	場内外プログラム、信仰奨励、全体行事に関すること
安全・警備部	参加者の安全管理、会場内の警備、大会の危機管理、緊急避難等に関すること
輸送部	会場内および周辺の交通統制、人員や荷物の輸送、駐車場等に関すること
会場運営部	会場利用、施設、設備、資材、器具、ごみ処理、し尿処理等に関すること
配給・食堂部	参加者の食料や炊事用燃料、スタッフへの給食等に関すること
広報部	大会の情報提供、報道、大会記録、スカウト通信員プログラム等に関すること
売店部	売店地域、スカウトショップ等に関すること

神石高原町

神石高原町・神石高原ティアガルテンとの連携協定

広島県神石高原町、公益財団法人ボーイスカウト日本連盟、株式会社神石高原ティアガルテンは、本大会を基軸として三者が連携し、地域資源の活用や地域交流などを推進していくこととしています。

神石高原町の概要

広島県の東部、山間地域が広がる備後地域の標高約500～700mに位置する神石高原町は、美しい大自然の中にある高原の町です。

町の花：ヒゴタイ（キク科ヒゴタイ属）
　　初秋に咲くルリ色の丸い花です。
町の木：ヤマボウシ（ミズキ科ミズキ属）
　　初夏に白い十字架型の花（総苞）をつけ、秋には美しく紅葉します。
人　口：7,661 人（令和7年7月1日現在）
世帯数：3,687 世帯
面　積：381.98㎢

自然・文化・食など、魅力あふれる神石高原町が参加者を待っています！

ソーシャルメディア（SNS）

神石高原町が実施する事業、施策等の情報や町内各地域での行事などをソーシャルメディアで発信しています。

ぜひ、各SNSをフォローしていただき、大会までに神石高原町の魅力をチェックしてください。

ふるさと納税

神石高原町の「ふるさと納税」で大会を応援できます！

ふるさと納税でのご支援は、大会開催に向けたプログラム作成、町内児童とスカウトの交流に係る移動費、景観の整備費や、道路改良費などに活用される予定です。

一般社団法人神石高原町観光協会提供

お問い合わせ

大会全般については、ボーイスカウト日本連盟事務局までお問い合わせください。

大会への参加に関するお問い合わせは、所属の県連盟事務局までご連絡ください。

なお、神石高原町役場や関連施設へ直接のお問い合わせはご遠慮ください。

公益財団法人
ボーイスカウト日本連盟
SCOUT ASSOCIATION OF JAPAN

〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3
Tel：03-6913-6262